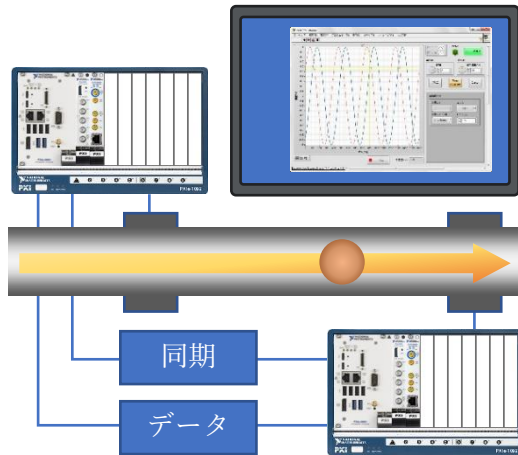


物理計測に必要な基本機能をパッケージ

NI PXI と、NI FlexRIO (FPGA) で構成され最大 0.3 ナノ秒の時間分解能を実現します。



演算処理は FPGA 内でリアルタイム処理しフィードバック制御を行う事も可能で、FPGA、表示を含み全て LabVIEW で開発できます。

入出力信号は、アナログ、デジタル、デジタイザなど用途に合わせ交換が可能です。

同期モジュールを追加することで GPS、LAN (IEEE-1558) を使用した離れた場所での同期も行う事が出来ます。



リアルタイム演算が可能のため、被測定対象を計測しながら状態を目視できるため、変化状況を観察することができます。

データストレージを追加し測定データを保存することができ、係数を変えるなど再演算と表示が可能で、レポートに必要なデータをエクスポートすることもできます。

NI FlexRIO(FPGA)とは

FPGA に演算、ロジックを組み込み独自の H/W を作ることができ、何度でも変更可能

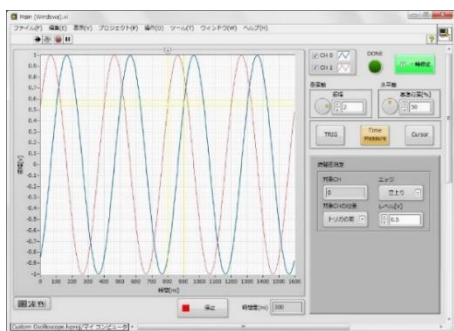


Adapter Module + FlexRIO を組み合わせる物と、モジュール形式の物が有ります。

アダプタモジュール：入出力信号に合わせ交換し利用することが可能です。

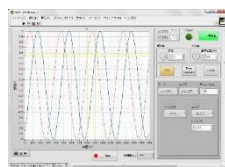
→ 仕様種類：<https://www.ni.com/ja/shop/electronic-test-instrumentation/flexrio/what-is-flexrio.html>

機能



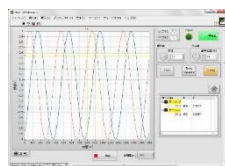
2ch の AI 間の時間測定

アナログ波形とカーソルを見ながら、対象 ch の閾値、立上り/立下りエッジ、垂直軸の振幅、水平軸の基準位置(%)、トリガ位置を設定でき、波形拡大、スクロールができます。時間差はリアルタイムで更新表示されます。



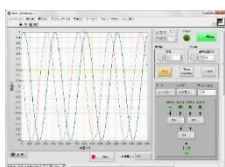
AI トリガ

ディレイなどのトリガ条件設定を行い AI 間の時間計測を行えます。



カーソル

カーソル操作でカーソル位置の XY 値と AI 間の時間計測ができます。



DI トリガ

DI の条件設定で AI 間の時間計測と外部機器のトリガ出力が行えます。



FPGA ロジック設定

計測、トリガに必要な詳細設定と FPGA 内の状態が表示されます。

スタンダード パッケージ 仕様

アナログ入力	
ch 数	2
分解能	14bit
同時サンプリング	あり
サンプリングレート	80MS/秒
帯域幅	110MHz
入力インピーダンス	50Ω
周波数範囲	0-110MHz
最大電圧	±1V
最小電圧範囲	±0.25V
デジタル I/O	
双方向 ch 数	IN:4,OUT:4
タイミング	ハードウェア
最大クロックレート	66MHz
最大データレート	132Mbit/秒
論理レベル	3.3V

ソフトウェア機能		
表示	表示方法	グラフ、数値
	表示 ch	2
	最大表示時間	モジュール依存
トリガ	AI トリガ	あり
	AI トリガ ch	任意 ch
	AI トリガ判定	閾値判定
	DI トリガ	あり
	DI トリガ ch	任意 1ch
ロジック演算	プリトリガ	あり
	トリガ時間	30ms
	演算入力 ch	4
ディレイ	演算出力 ch	4
	演算の種類	AND/OR
時間計測	最小時間	制限なし
	最大時間	
	最小間隔	
	最大間隔	



仕様は予告なく変更になる場合がございます。

お問い合わせ：TEL 03-4426-5113

太陽計測株式会社 メジャメントソリューション部